

閉会挨拶（10月26日）

運輸総研理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、今後の予定のお知らせの前に少しお時間を頂戴して、3点申し上げます。

まず、貴重なお話を下さった森地先生、岸井先生、山内所長を始めとする登壇者の皆様、長時間にわたりご参加いただいた大勢の皆様、そして当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

次に、本日のシンポジウムのテーマは「新型コロナウイルスが鉄道輸送と都市構造に及ぼす影響」でありました。運輸総研といたしましては、このテーマを最重点課題の一つと位置付けており、本日のシンポジウムをキックオフイベントとして、今後、精力的に調査研究を継続してまいりたいと考えております。

同時に、8月に「新型コロナと国際航空」に関するコロキウムを実施し、来月には「新型コロナと観光」に関する政策セミナーを予定するなど、鉄道以外の分野についても、新型コロナウイルスが及ぼす影響について調査研究を行っていく所存であります。

最後に3点目ですが、本日のシンポジウムは、運輸総研が2012年度から受託している「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査研究」の成果を踏まえたものであります。

この「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査研究」につきましては、12月に録画配信する研究報告会でも取り上げる予定ですが、本日、基調講演を行っていただいた森地先生のご指導と、関東地区の鉄道事業者の皆様の全面的なご支援によって成り立っているものであります。この場をお借りして、森地先生及び関係する鉄道事業者の皆様に、心より御礼を申し上げます。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。

本日は、最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。